

一般質問

ダイジェスト

市政の
?を
問いました

議員と行政のQ&A

期日前投票の宣誓書について

問 宣誓書を事前に記入できるように投票所入場券に印刷してはどうか。市のホームページからダウンロードできるようにしてはどうか。

答 入場券への印刷は電算のシステム改修が必要なため、共同化に参加の自治体と協議して検討したい。市のホームページに宣誓書を掲載しダウンロードすることについては、来年4月の選挙に向け検討したい。

貝喰川の廃川敷について

問 廃川敷の整備計画はどうか。大雨のたびに側溝の斜面が崩れているが、いつまでに整備が終わるのか。

答 管理用道路を設置し川底には排水路を設置する。また豪雨時に水が入る遊水池機能を持った景観と環境に配慮した緑地を整備する予定。増設ポンプは平成27年の出水期までに廃川



貝喰川の廃川敷

敷の整備も合わせ事業完了の予定である。豪雨で側溝が浮いている状態は既に補修が終わっている。

直江町の内水対策について

問 国道8号西側の直江町の浸水被害の軽減策はどうか。

答 現在緊急内水対策事業において、直江町内の排水路の超過水量を一時

公共施設の利用について

的に貯留する雨水調整池の有効性について検討中である。

問 4月から公共施設の利用料の減免基準が変わった。ウェルネスしただは利用者が減り、夏休みの小学生の利用もできない。再検討すべきだ。

答 各体育施設は利用件数など増加傾向にあるが、ウェルネスしただは利用件数で64%、利用者は80%と減少している。窓口に対する苦情はない。



ウェルネスしただ



ウェルネスしただで練習する下田剣道クラブ

国保税について

問 国保税の市民負担は限界を超えている。国保の広域化は市民のためにならない。市長の見解はどうか。

答 現行の制度を前提とした見直しは限界だ。全国市長会議で国保広域化の

スクールバスについて

推進と国に対して財政基盤の充実強化を図る提言をまとめた。国がその方向に動いている。

問 現行の運行規則は登下校に使う規定。校外学習に頻繁に使われる現在、見直しが必要ではないか。

答 今回の事故を契機に安全管理面に検討を加え、実態に即して見直すべき点は見直す。

住宅リフォーム制度について

問 ものづくりのまちとして特色あるリフォーム制度を創設する考えはないか。

答 リフォーム制度の考えはない。

度重なる事務処理ミス

問 個人住民税や国保税の課税誤り、介護保険料納入通知書の記載誤りと度重なるミスの原因と改善策はどうか。

答 総じて事務に対する知識の不足、加えて確認体制が甘かったことが原因。改善策については、一部職員への事務の集中防止を図る業務分担の再確認など、基本に立ち返り組織として間違いのない事務処理を行うよう取り組んでいる。

ご用聞き笑店街の実態

問 過去4年間の利用金額400万円、利用件数1002件、加盟店舗数21件、登録者数424件の実績について、その認識と課題はどうか。

答 事業運営は市の補助金を必要としており、独立した運営は厳しい状況。市としては買い物に不便を感じている市民にどのようなサービスが提供できるのか、ご用聞き笑店街と検討を重ねさらに連携していきたい。

三条昭栄開発の財務状況

問 市は昭栄開発の資本金2000万円のうち900万円を出資。このほとんどを回収できない状況が確実である。市長はこれについてどう考えるか。

答 株主の立場の中でしっかりと責任をとることも立場上重要と考える。

公共下水道事業と三条市の財政状況について

問 事業を見直さないと三條市の普及率は県内最低、経営状況は全国類似団体中最悪だ。どう受け止めるのか。浄化槽設置整備事業は検討したのか。

答 国に見直しの動きがある。その検討を妨げるものではない。



下水処理センター

音楽イベントと地域活性化について

問 素晴らしい音楽イベント「楽音祭」はなぜ入場無料か。ジャンル、ミュージシャンの選定基準は何か。全市民的なイベントにするにはどうするか。

答 実行委員会がレゲエ、ロックを中心に一定レベル以上を選定。今後入場者の声やアンケートを参考にして、発展に向けて相談する。



盛り上がる楽音祭

三条市非核平和都市宣言と平和教育について

問 非核平和事業費は十分か。中学生たちの広島への派遣が5年に1度は少ないと思う。「はだしのゲン」閲覧制限問題についての見解はどうか。

答 事業の目的は広範に達している。図書の閲覧制限はしない。今後も変えない。

職員の任用について

問 低い係長試験受験率を上げるために、公平委員会が試験の事務、選考を行う考えはないか。

答 人事担当部局で行うことが適切である。

旧一ノ木戸小学校跡地利用について

問 一ノ木戸児童クラブの利用者は約100名である。現在のスペースでは非常に狭く、接触事故によるけがやけんかの原因になっている。旧体育館は地域の避難所に指定されているが老朽化している。高齢者のための避難所と児童クラブを併用した施設、人気の高いすまいるランドのような丈夫な施設を嵐北に建設してはどうか。

答 耐震診断の結果、体育館のみを残し、それ以外は防災公園としての整備を基本とする。新校舎に移転してから一



取り壊し前の旧一ノ木戸小学校

建設業界の現状について

問 近年、建設業の倒産や廃業が相次いでいる。下田、三条地区の前建設業協会長を務めていた2社は地域でも有力な企業であり、災害復旧や除雪作業等で三条市に貢献していた。非常に残念。業界の倒産や廃業は一般競争入札の弊害であり、見直すべきであるか。

答 入札制度の基本である競争性、透明性、公平性の3原則は譲れない。

土砂災害防止法について

問 三条市での土砂災害警戒区域と土砂